

④ 現在出勤中、スタッフは、引き続き
勤務を

同時に、出勤可能なスタッフへの連絡も取ります

⑤ 優先すべき、転入、転院患者の

送定、受け入れ。

⑥ インフラの確認、備蓄食の確認、

⑦ D-MAT遂行員との連携

→ 対応能力と
柔軟性を
確保する。

SNS、Webなどを
利用して、他県も
含めて、転院と
お話しする。

〈前半〉 7月17日 病院

④

703 → 703

(病院
看護師)

スワッチ 6割 / 存在



業務の振り分け (必要なもの)

食事

トイレ (おむつ対応)

⑤

水もくのため / 随で出入りができる、
「出入りの確保」 回生HP 屋上
「感染への対応」 216番 2F

移動 → シュー

対策本部への連絡

1. 小情報収集

- ・水・電気等の状況
- ・スグ・7 安否確認

8 4スグ・7の出動について

↓ 確認

毒剤台帳への報告

連絡できる際へ連絡

↑
前もって連絡を依頼する
地域の

2. 小情報収集

- ・ひな人場を巡回する

5 毒局関係局の呼び出し

問い合わせるひな人場の

手帳に

3 集めました

と備品・様品

4 まかりの医療機関の状況確認

主な薬の在庫確認

薬剤師

5 グループ

1 入居者の定住と定住

・送迎、インストラ、職員、安全確認

2 受け入れと定住の受け入れ

・ゆうせんじい

・備とゆうじん、本で供可能な食品提供

③ 安全確保と定住を確保する。一か所に集まる
とら、HPを行う。

④ 自営施設の入居者ゆうせんじい、受け入れにゆうじんが
あれば、受け入れ、受け入れに際しては、職員と
者同時に受け入れ。

⑤ 生活可能な部屋をせんだし、一時的に協同生活
が定住者がいんとうす。

グループ

入所施設

④ 高齢者スタッフ

通常夜勤1名 残りを割り振る。

医療行為をしないので ことにより受け入れを考える。

精神HP スタッフ

院内のO₂残量をみて、受け入れられる数のみ対応。

非常警戒の対応ができはいい

土、日、夜間の勤務対応を続ける。

夜勤者はいない → 6割のスタッフの中で仮眠をってもらって、入ってもらう

で電のめどが分らないので、受け入れを止める。

職員の休けいの確保も必要

ライン登録をいれて一週間に出て来るスタッフ、利用スタッフを把握する。
グッズをいれても、非常物品を持ちしづらく ~~たいてい~~ (管理者)

O₂ - エキスポート

自赤、トビR₁に問い合わせてみる。

食事のかわくは市役所としよう。

訪問 → 自地会長に建らく。
民性委員。

⑤

現在、訪問、HP 利用スタッフに言

利用スタッフのHPをHPに加入している。

他の事業所をまとめる。(関連して) 利用する県に問い合わせる

セムの安否をかんてんする。

外国人も近くにある。

(地震・前潮)
訓練

2回/年

入所施設

+

救急

7777-70

夜之町

成成之

夏

(是古、古、古)

卷一

2022年12月26日

姉さんには、と「お父さん」

海同文樓支店下(中込込)

電話 03-3478-1111

反手を2917三検、下、電気昇降機

ついで、何所ではいか、状況等を、

医権度 下、
愚二源石確保、今、医、何知不足

2020年12月

實際、
 2. 6. 11 事件、T 2 年、と"うか、不~~得~~。

IV

- ・ 自分で作った計画書の支援者に連絡ある→娘連絡報告
- ・ 他の事業所と連携をとり家族に報告ある
(娘)
- ・ 自分が行けなうであれば行く。支援が最後に入った人に確認は報告ある
- ・ 近所、行政、情報を収集ある→考え対応
- ・ 電話以外での連絡ルールを利用ある

V

- ・ 子供のいる方、スタッフの状況確認、連絡とれる方法を確認ある
(動けずか動けないのか)
- ・ 移動方法の確認、家族の確認(動けずかどうかい) 自力で元々張れるかい
(手段) 確認ある
- ・ 優先順位確認ある(利用者、患者の状態)
- ・ スタッフの居場所確認(家、事務所、どこかい)、食料、水はあるのか
- ・ 薬の確認について、薬局と連絡、病状悪化の時、又不安をどうあるのか
あらかじめ話としておく
- ・ 情報集め、他事業所で協力できると確認

IV

11. グル-70

ケアマネ

移動の手段がない 利用者宅の場所にもよる。

直接確認は難しいと思うので 近所の知り合い

近くの病院 避難所 に関わり合わせる

V

希望はわかるが... 受け入れくもらえる病院・施設を
探す。

すぐにサービスを提供するのは難しい事を伝える

IV

連絡がとれない人の情報収集

各事業所の被災状況の確認

(デハ・訪問・入所施設...)

足りない部分(人・物)

実際(=職員が

現地へ行く

避難所の開設・運営

他の市町や県などに必要(=物資や

人の派遣)の依頼をする

どうやって? (これが?)

V

移動が必要なる人の優先順位をつける

状況把握する1つの手段として、訪問etcの

情報量を共有する(できる限りで)

Ⅳ. 平時でよいにめ、職員対応厳しい。

・誰から誰のことについて、どのような内容の問合せがあったのか、記録へ

・個別避難計画に基づいて安否確認依頼
→記載されている情報元に問合せ。

Ⅴ.

時間が足りなかつたにめ

100議でできませんでした。

行政

14710-70

15-7446-70

行政

TV

- ・近所・地域自治会に情報確認する
- ・個別対応は難しい
- ・情報が一錯綜し、ミミロ、平みからい、
- ・できせぬとは言いが、(被災大ぎいと二次被害に)
落ちつゐて対応する。 あうかも 見に行けよ、

HP
施設

- ・個別避難計画書を作っている
とれ活用して、民生委員さん、近所へ依頼
しめる。(SNS)

- ・災害対策ニアルとBCP両方を活用する。

- ・病院独自もBCPを作り、応援 ^{して} ~~する~~
う病院・施設は、せも確保できるか、...